

1	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
基本情報	1. 地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能																				2. 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能				
病院名	近接する病院の役割・機能の重複による課題の有無			地域医療構想の実現に向けた当該病院の課題（上記以外）の有無										新型コロナウイルス感染症対応における他の医療機関との役割分担や連携における課題の有無									地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能（現		
	課題の有無	役割・機能が重複する病院名	課題の内容	課題の有無	当該病院が構想区域内で求められる医療機能等の明確化	医師の不足	医師以外の医療従事者の不足	病床（数）の再編	診療科偏在	地域連携・地域包括ケア	新型コロナの影響による患者動向や救急搬送数の変化	課題の内容	課題の有無	周辺に受入病院がない	急性期治療を終えた感染症患者の受入体制	患者（特に重症患者）の集中	地域の医療機関との役割分担・連携（病院ごとに受入の基準に差がある等）	人手不足、スタッフへの負担	施設の老朽化、狭隘化による受入体制やゾーニングの難しさ	通常診療への影響（受入制限等）	自由記載	地域の中核的病院として急性期医療を提供	後方支援病院として、回復期リハ、慢性期医療を提供	地域包括ケア病棟等の活用による在宅復帰支援	
独立行政法人国立病院機構金沢医療センター	無			有		○						診療科によって医師数の偏りがある。24時間365日2次救急輪番を担うが、2次救急の領域が幅広く、対応できる医師の不足や働き方改革への対応という課題がある。	有									○		○	
金沢大学附属病院	無			有		○							有				○	○				○			
金沢市立病院	無			有	○							○	有					○				○		○	
金沢赤十字病院	無			有								○	有					○				○	○	○	
北陸病院	有	金沢市立病院（重点）、金沢赤十字病院（重点）、金沢有松病院（その他）	当院より規模が大きいが、病棟構成、診療内容が似ている。	無									有						○			○	○	○	
伊藤病院	無		当院は全病床地域包括ケア病棟入院科1の医療機能です。金沢市の中心に位置した病院です。本来の地域ケアシステムの役割としては、他の医療機関からの急性期などの医療機関との連携（受入れ・紹介等）が少ないこと。なお、在宅医療の更なる充実などが、今後最大の課題であると考えます。	有	○	○	○					○	有					○	○					○	
独立行政法人国立病院機構医王病院	無			有		○	○	○	○				有					○							
地域医療機能推進機構 金沢病院	無			有	○	○	○					○	有					○				○		○	
公益社団法人石川勤労者医療協会 城北病院	無			有		○	○					○	有					○	○	○				○	
浅ノ川総合病院	無			無									有					○				○	○	○	
整形外科米澤病院	無			無																					
石川県立中央病院	無			有		○	○					○	有				○	○				○			
石川県済生会金沢病院	有		2次救急医療機関として24時間救急患者を受け入れているが、働きかた改革に対応するためには医師が不足している。近隣同規模病院間で2次救急医療体制の分担ができると効率的であると思われる。	有	○	○	○					○	有					○	○	○		○	○	○	

1	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
基本情報															3. 機能分化・連携強化					
病院名	状)							地域包括ケアシステムの構築に向けた当該病院の課題							機能分化・連携強化の取組					
	在宅医療（訪問診療、往診等）、訪問看護、訪問リハビリ等	レスパイト目的の入院受入	地域連携室や居宅介護支援事業所による地域の医療機関等との連携	健康教室や出前講座等の啓蒙事業	健康維持増進に関する保健、介護（フレイル）予防事業	地域包括ケアシステムに関わる者を対象とした研修会の開催	自由記載	医師の不足	医師以外の医療従事者の不足	関係事業者との連携強化	病床の転換（地域包括ケア病棟等）	ICTを活用した連携体制の構築	入院支援や相談機能の充実	自由記載	複数病院の統合・再編	病院・診療所間の連携体制の構築	役割・機能の見直しによる病床数の見直し	役割・機能の見直しによる診療科目の見直し	医療機能の共同購入等による効率的調達	医薬品、診療材料の共同購入
独立行政法人国立病院機構金沢医療センター		○	○	○			地域包括ケア病棟の施設基準が厳格化されており、将来的に地域包括ケア病棟活用による在宅復帰支援、レスパイト入院受入の機能維持が課題である。			○		○	○	急性期を脱した患者の療養先の確保		○	○		○	○
金沢大学附属病院								○				○	○							
金沢市立病院										○		○				○			○	○
金沢赤十字病院		○	○							○		○		入院における施設と病院内でのICT活用		○				
北陸病院	○	○	○							○		○	○			○				
伊藤病院	○	○	○	○			近隣のクリニックなどの軽傷の入院などの連携・病院などから在宅復帰患者の連携が最大の課題である。			○		○	○			○				
独立行政法人国立病院機構医王病院	○	○	○					○	○			○				○	○			
地域医療機能推進機構 金沢病院	○	○	○	○	○	○		○	○	○			○			○		○		
公益社団法人石川勤労者医療協会 城北病院		○	○	○	○		当院はリハビリテーション専門医が在籍し嚙下外来、装具外来等も実施していることを連携の中で地域に広めていけば考える。在宅や施設から2次とか1.5次救急のように救急受入する等、連携強化で後方支援の役割を果たしたい。	○	○	○		○		今後は、地域の在宅支援や施設への支援を強める必要があると考える。		○				
浅ノ川総合病院	○	○	○	○	○			○	○	○		○	○							
整形外科米澤病院																				
石川県立中央病院			○											転院先の病院との転院調整に時間がかかること		○	○	○	○	○
石川県済生会金沢病院	○	○	○	○	○	○	生活困窮者への支援	○	○	○						○				

1	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	
基本情報	1. 地域医療構想等を踏まえた当該病院の果たすべき役割・機能																					2. 地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能			
病院名	近接する病院の役割・機能の重複による課題の有無			地域医療構想の実現に向けた当該病院の課題（上記以外）の有無									新型コロナウイルス感染症対応における他の医療機関との役割分担や連携における課題の有無										地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割・機能（現		
	課題の有無	役割・機能が重複する病院名	課題の内容	課題の有無	当該病院が構想区域内で求められる医療機能等の明確化	医師の不足	医師以外の医療従事者の不足	病床（数）の再編	診療科偏在	地域連携・地域包括ケア	新型コロナの影響による患者動向や救急搬送数の変化	課題の内容	課題の有無	周辺に受入病院がない	急性期治療を終えた感染症患者の受入体制	患者（特に重症患者）の集中	地域の医療機関との役割分担・連携（病院ごとに受入の基準に差がある等）	人手不足、スタッフへの負担	施設の老朽化、狭隘化による受入体制やゾーニングの難しさ	通常診療への影響（受入制限等）	自由記載	地域の中核的病院として急性期医療を提供	後方支援病院として、回復期リハ、慢性期医療を提供	地域包括ケア病棟等の活用による在宅復帰支援	
公立松任石川中央病院	無			有				○				当院を利用する患者は、川北町・能美市・小松市など医療圏外からの流入が多く、今後多様化する医療ニーズや、専門化する医療提供体制を考慮した場合、「医療圏外」の施設との連携体制は、特に医療圏境界にある施設にとっては必然的に求められる取組みであり、効率的な医療提供体制として極めて重要になることから、この機会に構想区域の特別な取扱いや医療圏の再編成等も議論すべきではないか。	有	○					○	○		当院発熱者外来への患者の集中。	○		
白山石川医療企業団 公立つるぎ病院	無			有		○						○	常勤医師が不足するとともに常勤医師の年齢が上がっており、外来診療や入院の受け入れ体制に苦慮している。	有										○	○
金沢医科大学病院	無			有		○	○	○				○		有									○		
公立河北中央病院	無			無										無									○		○

1	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
基本情報															3. 機能分化・連携強化					
病院名	状)							地域包括ケアシステムの構築に向けた当該病院の課題							機能分化・連携強化の取組					
	在宅医療（訪問診療、往診等）、訪問看護、訪問リハビリ等	レスパイト目的の入院受入	地域連携室や居宅介護支援事業所による地域の医療機関等との連携	健康教室や出前講座等の啓蒙事業	健康維持増進に関する保健、介護（フレイル）予防事業	地域包括ケアシステムに関わる者を対象とした研修会の開催	自由記載	医師の不足	医師以外の医療従事者の不足	関係事業者との連携強化	病床の転換（地域包括ケア病棟等）	ICTを活用した連携体制の構築	入退院支援や相談機能の充実	自由記載	複数病院の統合・再編	病院・診療所間の連携体制の構築	役割・機能の見直しによる病床数の見直し	役割・機能の見直しによる診療科目の見直し	医療機能の共同購入等による効率的調達	医薬品、診療材料の共同購入
公立松任石川中央病院			○	○	○	○	当院は地域医療支援病院、災害拠点病院であり、また、地域の中核病院として急性期医療を担っており、高度医療機器を整備し医療水準の向上と、地域住民に必要な不可欠な医療の提供を目指している。 また地域包括福祉支援センターおかりやを併設し、地域包括ケアシステムの拠点としての機能を強化し、近隣住民の生活を支える役割をになっている。							新型コロナウイルス感染症対策において重点医療機関に指定されていることから、今後新興感染症対策において地域の中心的役割を担うことが求められている。新興感染症対策において、柔軟に対応できるよう、ハードウェア的にも見直しをおこなう必要がある。		○	○		○	○
白山石川医療企業団 公立つぎ病院	○	○	○	○	○	○	当院は、一般病棟、回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟を有し、急性期から回復期に至る医療を実施するとともに、居宅系介護サービス（訪問リハビリテーション、通所リハビリテーション、短期入所生活介護）を実施している。 また、同企業団が運営する公立松任石川中央病院、白山ろくの3診療所との一体的運営、役割分担の明確化により、切れ目のない包括的なケアを実践している。 さらに、在宅療養支援病院として、地域のかかりつけ医と連携して訪問診療を実施しており、白山市からの委託を受け、行政や地域の医師会と協働で、在宅医療・介護連携推進事業にも取り組んでいる。 また、鶴来圏域における地域包括支援センターを受託しており、病院と相互に連携をとりながら、地域包括ケアシステムにおいての役割を果たしている。	○						新型コロナウイルス感染症対策において重点医療機関に指定されていることから、今後新興感染症対策において地域の中心的役割を担うことが求められている。新興感染症対策において柔軟に対応できるよう、ハードウェアの充実や常勤医師の確保が課題である。		○				○
金沢医科大学病院								○	○			○							○	
公立河北中央病院		○	○	○	○	○	地域包括ケアシステムの中核として、質の高い医療・介護・生活支援を提供することにより、切れ目のない地域完結型医療を担う。					○		これまで以上に役割の明確化や経営の健全化が求められる。		○				

